

新潟日報 3月5日付

「柏崎刈羽原発 圧力バウンダリーの給水管 ひび割れ配管と同材料」について

平成 15 年 3 月 5 日  
東京電力株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

本日の新潟日報において、「柏崎刈羽原発 圧力バウンダリーの給水管 ひび割れ配管と同材料」との記事が掲載されました。当所プラントでの原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する給水系配管において、S U S 3 1 6 L(ステンレス鋼)は使用されておられません。

なお、原子炉冷却材圧力バウンダリを構成するS U S 3 1 6 L以外の配管についても、供用期間中検査が計画的に実施されており、これまでひび割れが発見された事例はありません。

以上

< 参考 >

原子炉冷却材圧力バウンダリ：

原子炉の通常運転時に、原子炉冷却材を内包して原子炉と同じ圧力条件となり、異常状態において圧力障壁を形成するものであって、それが破壊すると原子炉冷却材喪失となる範囲の施設をいう（「発電用軽水炉原子炉施設に関する安全設計審査指針」）。